



産業廃棄物処理計画書

25年 6月 11日

大分県知事 広瀬 勝貞 殿

提出者

住 所 大分県宇佐市大字四日市55番地の1

氏 名 株式会社 元吉建設工業

代表取締役 元吉 克臣

電話番号 0978-32-0267

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 元吉建設工業
事業場の所在地	大分県宇佐市大字四日市55番地の1
計画期間	平成25年4月1日～平成26年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	06 総合工事業						
②事業の規模	318,820千円						
③従業員数	25名						
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<table style="border: none;"> <tr> <td style="border: none;"> アスコンがら・コンクリートがら 廃プラスチック類・木くず 廃石膏ボード </td> <td style="border: none; font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td style="border: none;"> 破碎・選別 → 再生利用 </td> </tr> <tr> <td style="border: none;"> その他のがれき類 ガラス・陶磁器くず 紙くず・混合(安定型) </td> <td style="border: none; font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td style="border: none;"> 破碎・選別・圧縮・焼却 → 埋立 </td> </tr> </table>	アスコンがら・コンクリートがら 廃プラスチック類・木くず 廃石膏ボード	}	破碎・選別 → 再生利用	その他のがれき類 ガラス・陶磁器くず 紙くず・混合(安定型)	}	破碎・選別・圧縮・焼却 → 埋立
アスコンがら・コンクリートがら 廃プラスチック類・木くず 廃石膏ボード	}	破碎・選別 → 再生利用					
その他のがれき類 ガラス・陶磁器くず 紙くず・混合(安定型)	}	破碎・選別・圧縮・焼却 → 埋立					

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（平成24年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

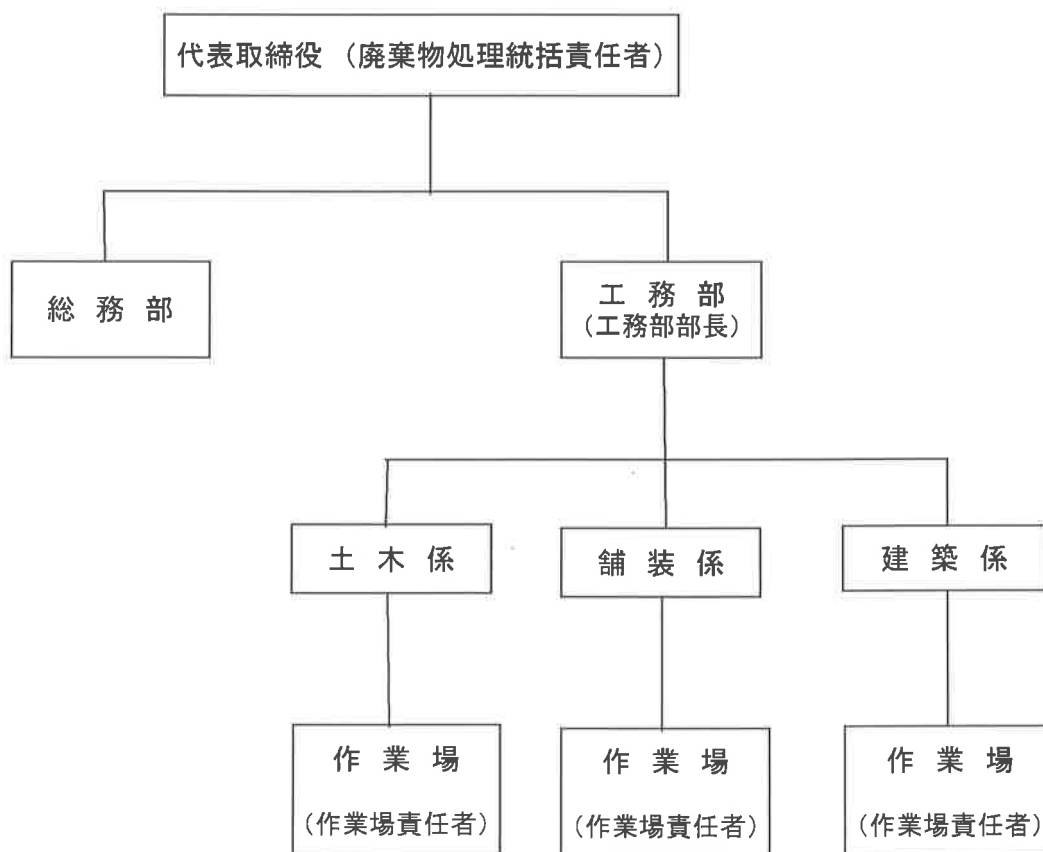
産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) アスコンがら・コンクリートがら・木くず・廃プラスチック類・廃石膏ボード・紙くず・その他のがれき類・ガラス、陶磁器くず・汚泥・等をマニフェストの分類に準じて分類。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記以外でも他の種類の産業廃棄物が排出されれば分別を実施。

(第2面) 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

総括責任者		代表取締役
廃棄物処理責任者		各作業場の責任者
役割	工務部	<ul style="list-style-type: none"> * 廃棄物処理に関する検討 * 処理業者・再生利用業者の選定 * 廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 * 産業廃棄物管理票の交付・管理
	総務部	<ul style="list-style-type: none"> * 廃棄物処理計画の作成 * 委託契約の締結 * 監督官庁への各種報告 * 産業廃棄物管理票の交付・管理 * その他関係する事項

(管理体制図)



(第2面) 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（平成24年度）実績】										
産業廃棄物の種類	アスコンがら	コンクリートがら	コンクリートがら（有筋）	コンクリートがら（無筋）	木くず	廃プラスチック類	廃石膏ボード	ガラス・陶磁器くず	紙くず	
排出量	1016.69 t	280.47 t	23.26 t	2393.91 t	93.365 t	24.363 t	4.74 t	6.33 t	3.16 t	
産業廃棄物の種類	ばいじん付着がれき類	その他のがれき類	汚泥	ばいじん付着汚泥	混合（管理型含む）	混合（安定型のみ）	金属くず			
排出量	5.92 t	13.93 t	2.75 t	0.14 t	4.0 t	1.88 t	0.67 t			
（これまでに実施した取組）										
* 適切な産業廃棄物処理業者に委託										

【目標】										
産業廃棄物の種類	アスコンがら	コンクリートがら	コンクリートがら（有筋）	コンクリートがら（無筋）	木くず	廃プラスチック類	廃石膏ボード	ガラス・陶磁器くず	紙くず	
排出量	1000 t	280 t	23 t	2300 t	90 t	25 t	4 t	5 t	3 t	
産業廃棄物の種類	ばいじん付着がれき類	その他のがれき類	汚泥	ばいじん付着汚泥	混合（管理型含む）	混合（安定型のみ）	金属くず			
排出量	5 t	10 t	2 t	1 t	2 t	1 t	1 t			
（これまでに実施した取組）										
* 上記に同じ										

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(これまでに実施した取組) _____		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(今後実施する予定の取組) _____		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
(これまでに実施した取組) _____			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
(今後実施する予定の取組) _____			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(これまでに実施した取組) _____		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(今後実施する予定の取組) _____		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成24年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

(第4面) 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（平成24年度）実績】									
産業廃棄物の種類	アスコンがら	コンクリートがら	コンクリートがら（有筋）	コンクリートがら（無筋）	木くず	廃プラスチック類	廃石膏ボード	ガラス・陶磁器くず	
全処理委託量	1016.69 t	280.47 t	23.26 t	2393.91 t	93.365 t	24.363 t	4.74 t	6.33 t	
優良認定処理業者への処理委託量	—	—	—	—	—	—	—	—	—
再生利用業者への処理委託量	1016.69 t	280.47 t	23.26 t	2393.91 t	93.365 t	24.363 t	4.74 t	6.33 t	
認定熱回収業者への処理委託量	—	—	—	—	—	—	—	—	—
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(これまでに実施した取組) * 委託基準に従って産業廃棄物を委託出来る業者を選択し委託する。									

①現状

【前年度（平成24年度）実績】									
産業廃棄物の種類	紙くず	ばいじん付着がれき類	その他のがれき類	汚泥	ばいじん付着汚泥	混合（管理型含む）	混合（安定型のみ）	金属くず	
全処理委託量	3.16 t	5.92 t	13.93 t	2.75 t	0.14 t	4.0 t	1.88 t	0.67 t	
優良認定処理業者への処理委託量	—	—	—	—	—	—	—	—	—
再生利用業者への処理委託量	3.16 t	5.92 t	13.93 t	2.75 t	0.14 t	4.0 t	1.88 t	0.67 t	
認定熱回収業者への処理委託量	—	—	—	—	—	—	—	—	—
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(今後実施する予定の取組) * 可能な限り優良認定処理業者から選定するようにしたい。 * 再生利用が可能である廃棄物については、再生利用業者へ処理委託するようにする。									

①現状

②計画	【目標】 別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t
	再生利用業者への 処理委託量	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
	(今後実施する予定の取組)	
※事務処理欄		

(第5面) 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【目標】									
産業廃棄物の種類	アスコンから	コンクリートから	コンクリートから (有筋)	コンクリートから (無筋)	木くず	廃プラスチック類	廃石膏ボード	ガラス・ 陶磁器くず	
全処理委託量	1000 t	280 t	23 t	2300 t	90 t	24 t	4 t	5 t	
優良認定処理業者への 処理委託量	—	—	—	—	—	—	—	—	—
再生利用業者への 処理委託量	1000 t	280 t	23 t	2300 t	90 t	24 t	4 t	5 t	
認定熱回収業者への 処理委託量	—	—	—	—	—	—	—	—	—
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(これまでに実施した取組)
* 委託基準に従って産業廃棄物を委託出来る業者を選択し委託する。

②計画

【目標】									
産業廃棄物の種類	紙くず	ばいじん付着 がれき類	その他の がれき類	汚泥	ばいじん付着 汚泥	混合 (管理型含む)	混合 (安定型のみ)	金属くず	
全処理委託量	3 t	5 t	10 t	2 t	1 t	2 t	1 t	1 t	
優良認定処理業者への 処理委託量	—	—	—	—	—	—	—	—	—
再生利用業者への 処理委託量	3 t	5 t	10 t	2 t	1 t	2 t	1 t	1 t	
認定熱回収業者への 処理委託量	—	—	—	—	—	—	—	—	—
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(今後実施する予定の取組)
* 可能な限り優良認定処理業者から選定するようにしたい。
* 再生利用が可能である廃棄物については、再生利用業者へ処理委託するようにする。

②計画

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。